

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.8.5 No.237 連絡先 FAX 042-555-1911



MVオスプレイ 8月21日～29日 富士演習場で訓練 横田で給油か

7月30日、南関東防衛局は「米海兵隊のMV-22 オスプレイ 1機から4機が、8月21日(金)から同月29日(土)までの間、東富士演習場及び北富士演習場において離発着訓練を実施する可能性がある」と発表。



7月31日、富士学校は「8月21日～8月29日まで、0900から2200までの間、1機から4機のティルトローター機が演習場全域において発着訓練を実施」と発表。さらに「オスプレイに反対する東富士住民の会」(略称)の渡邊希一さんは「8月23日(日)は、総合火力演習公開演習が行われ、前日の22日も総合火力演習教育演習(予行演習)が行われる。」と言っています。

7月の横田座り込み 猛暑の中250名の参加者

7月21日の横田座り込みは、東京土建の皆さんが全都から110名を超える参加(右写真)でした。三多摩健康友の会(左写真)、反核ウオーキングの会の皆さんは横田基地見学の後、座り込みに参加(左下写真)。



白石たみお都議は前回に続き参加、日本平和委員会の千坂事務局長も参加してくれました。(右2枚)

第77回横田座り込みは 8月16日(日)

8月21日からのMV22の訓練に抗議しよう!

7月の無通告のC130編隊飛行に抗議しよう!

CV22 オスプレイ横田配備計画に抗議しよう!



オスプレイ配備準備? 格納庫・駐機場整備など業者募集 その2

米軍は横田基地に特殊作戦飛行隊1個を新設し、CV22を2017年後半に3機、21年までに計10機の配備を計画しています。臨時飛行隊作戦施設の設置は、新たな飛行隊の受け入れに対応するものです。特殊作戦の実施に備える施設整備もあります。貯蔵施設が建設されるチャフ・フレアは赤外線・レーダー誘導ミサイルの攻撃を避けるためのもので、低空で敵の支配地域奥深く侵入するCV22にとって不可欠の装備です。滑走路東南の駐機場には、作戦から帰還して迅速に再出撃するためにエンジンを運転した状態で燃料を補給する給油場2カ所を設置します。

CV22が、エンジンの噴射口を地上に向けたまま停止することが想定される駐機場、滑走路と交差する9カ所の誘導路の待機場、緊急着陸帯は、コンクリート舗装の継ぎ目の防水材を撤去・交換するほか、30メートル四方のコンクリート表面を耐火性・耐熱性のあるケイ酸ナトリウム(水ガラス)の保護材で塗り直します。とくに、高温の排出ガスを噴出するCV22用の駐機場とみられる滑走路南西部の駐機場のコンクリート表面は、最終的に対高熱補強とするほか、7機分の駐機スペースにロープによる機体固定具をいします。住民無視のCV22配備準備を許さない!

ハワイのオスプレイ墜落 砂吸いエンジン停止 米誌が報道 (No. 237 の裏面)

米オンライン軍事専門誌『プレイキング・ディフェンス』は7月16日、米ハワイで5月17日に発生した米海兵隊垂直離着陸機 MV22 オスプレイの墜落事故について、エンジンが地上から巻き上げた砂を吸い込んで停止したことなどが原因だとした記事を掲載しました。(写真：砂を巻き上げる「オスプレイ」---『プレイキング・ディフェンス』から)



また、米軍内部ではエンジンの吸気口フィルターの改良を求める声が以前からあったものの、放置されていたと指摘。今回の事故を受けて改良される可能性はあるものの、2017年以降になるとの見通しを示しました。ハワイで事故を起こした機体は、普天間基地に配備されているものと同型機です。横田基地に飛来している MV オスプレイも同型機ということです。

日米両政府は「機体の安全性に問題はない」と配備を継続していますが、オスプレイは高出力のエンジンを備えており、離着陸の際は地面に対して強い吹き降ろし(ダウンウォッシュ)を引き起こすため、エンジンが砂や泥、雪などを吸い込むリスクは、通常のヘリよりも高くなっています。今回の事故はオスプレイの構造的欠陥によるものです。(「赤旗」7月20日付参照)

調布・軽飛行機墜落 住民が巻き込まれる恐怖 死者3名、負傷者5名

7月26日(日)、調布飛行場を離陸直後の軽飛行機が10時58分、飛行場から南東に約700メートル離れた住宅地に墜落炎上しました。真っ赤に燃え上がる炎、民家の女性(34歳)が巻き込まれて死亡しました。お悔やみを申し上げます。事故の原因については、燃料を約280キロ積み5人も搭乗させエンジンが出力不足になった、飛行前の点検等が不十分、滑走路の長さ不足など様々言われていますが、市街地飛行場の閉鎖も視野に、再発防止に取り組むべきです。

市街地に巨大な米軍横田基地を抱える私たちにとっても人ごとではなく恐怖を感じました。米軍が運用する横田基地では、危険なオスプレイも、超大型輸送機や燃料を満タンにした空中給油機も、勝手気ままに昼も夜も飛行しています。住宅密集地に飛行場はNO!

中東想定し日米共同訓練 海外での武力行使歯止めなし 戦争法案廃案に

7月30日、参院安保法制特別委員会で井上哲士議員(共産党)は、戦争法案を先取りする形で、自衛隊と米軍が海外での武力行使を想定した実戦的な共同訓練を行っていることを明らかにしました。共同訓練は、昨年1月から2月にかけて米カリフォルニア州にある米陸軍戦闘訓練センターで行われたもの。陸上自衛隊(約180人)がアジアで初めて参加し、96式装輪装甲車や74式戦車まで持ち込んで、イラク、アフガニスタンへの派兵を繰り返してきた米陸軍ストライカー戦闘旅団(約4000人)と戦闘訓練を行っています。米軍公式サイトなどによると、同訓練センターは広大な砂漠地帯(鳥取砂丘の91倍の広さ)で、大小20の集落や巨大なモスクまで設けられています。「中東を想定し、米軍と共同の軍事作戦をできるようにするためのものではないか」と井上氏は政府にただしました。井上氏は、同訓練について防衛省に情報開示を求めたものの、黒塗り資料しか示されていないとして、内容を明らかにするよう要求。井上氏は「歯止めなき海外での武力行使につながる」として法案を廃案にするよう主張しました。

* 1945年8月6日に広島に、同年8月9日に長崎に原爆が投下された！ 今年70周年
人類と共存できない核兵器は廃絶を！ 核も原発も軍事基地も戦争もない世界を！